

令和3年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業概要(男鹿市)

1 市の概要(人口 25,973 人)※令和3年4月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(令和3年4月1日現在)						
幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校
1 園	0 園	0 園	7 か所	1 園	0 園	6 校

その他:事業所内1 へき地保育所 児童館 小規模保育 認可外

2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
<p>(1) 教育・保育アドバイザーの継続的な支援のもと、保育者の研修意欲の高揚を進展させ、就学前教育・保育の推進体制を定着させていくことが課題である。</p> <p>(2) 市教育委員会指導主事と教育・保育アドバイザーの連携による接続を見通した教育課程の編成を目指し、接続期の質の高い教育・保育体制の充実・強化が必要である。</p>

3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育・保育アドバイザーが継続的に園への巡回訪問及び助言を行い、保育の質の向上を図る。</li> <li>教育・保育の専門家を活用した研修会等の実施により、キャリアステージに応じた人材育成を目指す。</li> <li>小学校への円滑な接続に関する研修会・事業の拡大を実現する。</li> </ul>	
主な内容(3年間)	
<p>(1) <b>教育・保育アドバイザーの配置</b> 市に教育・保育アドバイザーを配置し、各就学前施設の課題解決に向けた継続的な支援と、県の教育・保育アドバイザーと連携しながら、課題解決に向けた方策を探る。</p> <p>(2) <b>教育・保育アドバイザーによる市内就学前施設の指導・助言</b> 教育・保育アドバイザーによる訪問指導、園内研修の支援、ミドルリーダーの育成、保育者の面談によるきめ細かな指導・助言を行う。県と連携した保育の継続的指導を行う。</p> <p>(3) <b>市内就学前施設等の職員研修会の実施</b> キャリア別研修などにより、人材育成や保育者の専門性の向上を図る。各施設の課題の共有及び解決への過程を県指導主事、県教育・保育アドバイザーと連携し、継続的に導いていく。</p> <p>(4) <b>公開保育研究会を核とした学び合う体制づくり</b> 市内就学前施設の公開保育により、各園の良さと課題の明確化をし、施設間の交流体制を作る。また、市内施設、小学校、及び近隣市町村と地域で学び合う体制を構築する。</p> <p>(5) <b>県との連携体制の活用</b> 県の就学前教育推進協議会、県主催の研修、教育・保育アドバイザー連絡協議会に参加し、教育・保育アドバイザーの質の向上を図ると共に、地域での教育・保育推進の支援、情報共有、活動を円滑に行う。</p>	
年度別重点	
令和元年度	公開保育研究会等による地域で学び合う体制づくり（近隣の小学校や近隣市町村への研修会の提供）、キャリア別研修などにより、人材育成や保育者の専門性の向上を図る。
令和2年度	公開保育研究会等による地域で学び合う体制づくり【令和元年度からの継続】 小学校教育への円滑な接続に向けた研修の充実と教育課程の編集・実施
令和3年度	公開保育研究会等による地域で学び合う体制づくり【令和2年度からの継続】 教育・保育の専門家を活用した研修会等の継続実施により、キャリアステージに応じた人材育成を目指す。 小学校への円滑な接続・事業の拡大を実現する。

#### 4 令和3年度の具体

目的
<p>教育・保育アドバイザーを2名配置し、円滑な幼保小接続のための就学前教育の質的向上を図るため、市内就学前施設への巡回指導・助言を行う。</p> <p>また、市内就学前施設等の職員研修会、公開保育研究会における指導・助言を行う。</p> <p>公開保育研修会の実施を核とした学び合う体制づくりを構築する。</p> <p>研修会等への参加によりアドバイザーとしての専門性の向上を図る。</p>

#### 実施内容及び実施状況

<p>(1)「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」</p> <p>①教育・保育アドバイザーの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な幼保小接続のための就学前教育の質的向上を図るため、市内就学前施設への巡回指導・助言を継続</li> <li>訪問指導により、各園の保育指導、園内研修支援、研修リーダー育成、保育者の面談によるきめ細かな指導助言を実施</li> </ul> <p>②各種研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の専門性の向上を図るため、各種研修会を実施 保育実践力研修、全体研修、キャリア別研修</li> <li>接続期の重要性の認識を共有するために教育委員会との連携を図り、就学前・小学校等合同研修会を開催</li> </ul> <p>③公開保育研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の公開を通して、各園の課題を明確化し、施設間での交流体制の構築、市内施設や小学校を含めた近隣市町村の枠を越えた地域で学びあう体制を構築 若美南保育(6/18:中止)、玉ノ池保育園(9/22)、いづみ幼稚園(7/1) ※若美南保育園は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、2園の公開保育は予定通り実施したが近隣市町村からの参加は見合わせた。</li> </ul>
<p>(2)「教育保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育保育アドバイザーによる私立幼稚園、保育園等の訪問指導により、各園の保育指導、園内研修支援、研修リーダー育成を実施</li> <li>面談対象を主任、副主任、リーダー保育士、異動職員、新規採用職員等とし、きめ細かな指導助言を実施</li> <li>保育参観と保育の振り返りや園内研修と研修の振り返りをその都度行い、保育の見方や考え方、環境の構成や保育者の援助などについて、自ら気づいたり職員全体で考えたりすることができるように丁寧にわかりやすく伝えていく。</li> </ul>

◇令和3年度アドバイザーによる巡回訪問・指導（男鹿市）

⑥派遣実績 計15施設／教育保育施設全9施設 小学校6施設 105回	
回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園：私立1園（15回）</li> <li>保育園：市立6園（69回）</li> <li>保育所型認定こども園：市立 1園（12回）</li> <li>その他の施設：（事業所内保育施設 1か所（2回）</li> <li>小学校：6校（7回）</li> </ul>
訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（実績のうち、8園（49回）</li> <li>公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備）（実績のうち、3園（20回）</li> <li>個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（実績のうち、9園（78回）</li> <li>状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）（実績のうち、9園（42回）</li> <li>周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（実績のうち、9園（24回）</li> <li>県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（実績のうち、7園（6回）</li> <li>幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（実績のうち、6校（9回）</li> <li>特別支援訪問（実績のうち、8園（6回）</li> </ul>
理	<p>派遣目標として、各園月1回以上訪問し、保育実践や園内研修等の指導や助言を行い、保育力の向上を図る。事業所内保育へも訪問し保育や環境等の状況の把握に努める。入学する小学校へも</p>

由 訪問し、連携の理解を進める。

- 園や保育者の様々な悩みを一緒に考えていくことで自分の力で解決ができるようになってきている。
- 自分の保育を深く考えるようになり、「発達」や「子どもにとって」を意識した保育をしている。
- 園内研修では、自分たちが明らかにしたいことを共通理解しつつ、自分の思いや考えを発信する姿勢が見られる。
- 保育の質や保育実践力の個人差が大きいため、子どもの「発達」や「主体性」、子どもの経験していることの「意味」や「価値」などを一緒に考えていくことができるように今後も保育提供後の振り返りの時間が必要である。



園内研修の様子

△園内研修では、毎回話し合った内容をまとめて完結という方向に進みがちである。更に研修が深まっていくために、話し合った内容について今後どう実践していくのか、実践してその後どうなったのかを検証していくことの大切さをアドバイスしていく。

### (3)「専門性の向上のための研修の充実」

- ・指導案の書き方について、研修対象者を担当年齢に分けて全ての保育者に広げて実施することにより保育実践力の向上を図る。
- ・日々の保育や保護者支援に役立てるために「子どもの人権と保育」について学び、保育の専門性を高めていく。
- ・ミドルリーダー研修の継続により現場の人材育成を図る。

#### ①男鹿市保育実践力向上研修会

##### ア 年齢別指導案や記録の書き方研修（3回実施）

～0歳児～

実施日時：令和3年8月18日（水）13：30～16：00

参加者：12名

講師：秋田県教育庁幼保推進課 幼保指導員 阿部真理氏

講話・演習：「子どもの見方で保育が変わる！～3歳未満児の指導案の捉え方と日々の記録の意味を考える～」

～1歳児・2歳児～

実施日時：令和3年8月23日（月）13：30～16：00

参加者：8名

講師：秋田県教育庁幼保推進課 幼保指導員 阿部真理氏

講話・演習：「子どもの見方で保育が変わる！～3歳未満児の指導案の捉え方と日々の記録の意味を考える～」

～3歳以上児～

実施日時：令和3年8月25日（水）13：30～16：00

参加者：11名

講師：秋田県教育庁幼保推進課 指導主事 佐藤玲子氏

秋田県教育庁幼保推進課 教育・保育アドバイザー 山上真智子氏

講話・演習：「保育記録と指導計画（3～5歳児）」

- 子どもの姿（実態把握）を担当間で一緒に読み取り、その中からキーワードを探して記録し、「SOAP」を意識しながら、次の保育につなげていくことの大切さを共通認識することができた。
- 園長補佐や主任の立場での参加者においては、今後の指導の参考になったとの意見が多く聞かれた。
- 評価・反省の書き方についても学びたいという意見もあったため、次年度の課題としたい。
- △週日案の書き方について個人差があることから次年度も実施したい。



計画と記録の意味を考える

#### イ 全体研修

実施日時：令和3年10月23日（土）10：00～12：00

参加者：34名

講師：秋田県教育庁幼保推進課 指導班 副主幹兼班長 浅野直子氏

講話・演習：「子どもの人権と保育」

- 「子どもの人権」について参加者全員が意識を高く持つことができた。「子どもの最善の利益」は「子ども主体」で考えていくことが大切であり、それを保育で実践していかなければいけないという思いを共有した。
- 演習を通して、考えを伝え合うことで視点の違いに気づき、多面的な見方があることを知った。今後の園内研修の参考となったのではないか。
- 「子どもの人権」についてより多くの保育士等が思いを共有するために今回参加できなかった職員へのフィードバックを各園でどのように取り組むかが大きな課題である。



質疑・応答の様子

#### ウ 男鹿市キャリア別研修会

ミドルリーダー研修会

実施日時：令和3年11月5日（金）13：30～16：30

参加者：7名

講師：秋田県教育庁幼保推進課 指導主事 佐藤玲子氏

秋田県教育庁幼保推進課 教育・保育アドバイザー 山上真智子氏

講話・演習：「園内でリーダー職員の役割を担う職員層を主な対象者とし、園内でのミドルとしての役割や対応力、若手の育成、心構えなどを学ぶ」

- 参加者のアンケートから「今回の研修を受けることで、ミドルリーダーとしての役割や対応力若手の育成や心構えについて再認識し意識することができた」という感想が多くあり、ミドルの立場を考えるよい機会となった。
- 毎年実施してほしいという要望があり、ミドル職員の意識の高まりや意欲を感じた。
- 今回の学びを実践でどのように活かしていくのか、またどのように活かしているのかを園訪問や個人面談等で把握しながら今後もミドルリーダーを支えていきたい。
- △ミドル職員としての自覚について個人差があることから、人材育成のために次年度も実施したい。また、参加者の対象も広げていきたい。

(4) 「小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実」

公開保育研修会や合同研修会の実施を核とした学び合う体制づくり

- ・ 3園による公開保育を実施し市内施設、小学校、近隣市町村との地域で学び合う体制を推進する。
- ・ 幼小接続について共有できる場となるよう、小学校からの保育参観、特に協議への参加について事前に働きかけていく。
- ・ 教育委員会と連携を取りながら接続に関する男鹿市就学前・小学校等合同研修会を開催する。

①男鹿市就学前・小学校等合同研修会

実施日時：令和3年7月27日（火） 13：30～16：30

参加者：14名（小学校職員6名・幼稚園及び保育園職員8名）

講師：秋田県教育庁幼保推進課 指導主事 佐藤玲子氏

講話・演習：「育ちや学びをつなぐ幼保小の円滑な接続について」

- 小学校側からは、「10の姿について詳しく知ることができた」「今までは、小学校の枠の中でしか子どもを見ていなかった」「今後は接続期を通して、今の子どもたちがあるという視点で見ていきたい」など、就学前教育・保育について小学校の先生たちから理解してもらったきっかけとなった。
- 保育園側からは「保育がどのようにして行われているか、私たちが考えていることやねらいなどを少しでも伝えられたのではないか」「小学校の先生たちと一緒に研修することで、円滑な接続についての理解を深めることができた」など、接続期の大切さについて再認識することができた。
- 「10の姿」「接続期の教育・保育」についてより周知していく。
- 教育委員会と連携を深め、合同で企画した研修会としていきたい。



5歳児の姿から10の姿を共に考え合う



グループ発表（小学校教諭）

②幼保小連絡協議会

- |             |             |   |
|-------------|-------------|---|
| 男鹿市立船川第一小学校 | ： 第1回中止     | 第2回要請なし                                       |
| 男鹿市立船越小学校   | ： 第1回（欠席）   | 第2回（2/10）                                     |
| 男鹿市立脇本第一小学校 | ： 第1回中止     | 第2回（2/24）                                     |
| 男鹿市立北陽小学校   | ： 第1回（6/21） | 第2回開催なし                                       |
| 男鹿市立払戸小学校   | ： 第1回（6/8）  | 学校運営委員会授業参観（7/7）<br>1年国語科授業参観（10/5） 第2回（2/10） |
| 男鹿市立美里小学校   | ： 第1回（7/20） | 第2回（2/24）                                     |

- 幼保小連絡協議会に教育・保育アドバイザーが出席するようになったことで、学区内の園で開催する公開保育参観や指導主事要請訪問への小学校側の出席が少しではあるが増えた。
- 教育・保育アドバイザーが授業参観や研究授業参観に参加することで、「10の姿」の育ちの大切さを実感することができた。また、授業参観の様子や研究授業の内容等を各園に伝えることで、環境の再構成や援助、配慮等の見直しの参考になっている。

●コロナ禍により授業参加・保育参加の実施は見送られた。来年度以降は、全学区で実施の計画を立ててもらえるよう働きかけていく。

△公開保育や授業参観だけではなく、午後からの協議への参加の必要性についても教育委員会と担当課が連携を取りながら伝えていく。また、出席者については管理職以外にも担任教諭等への依頼もしていく。

#### (5) 「県との連携体制の充実」

##### 県との連携体制の活用

- ・秋田県主催の協議会、研修会等に参加し、アドバイザーの質の向上を図る。
- ・県指導主事、県幼保指導員、県教育・保育アドバイザーからの支援を受けながら地域の教育・保育体制の支援、情報共有、活動を円滑に行う。
- ・他市アドバイザーの指導助言に学び、市の巡回指導に役立てる。

##### ①県主催協議会

- ・教育保育アドバイザー連絡協議会  
(第1回：4/28 第2回：6/17 第3回：8/26 第4回：10/14 第5回：12/22)
- ・就学前教育推進協議会 (11/26)

##### ②県主催研修会

- ・5年経験者研修Ⅱ(9/2)
- ・新規採用者研修Ⅴ(9/7)
- ・マネジメント②-I(9/17)
- ・保育実践力習得研修Ⅱ(10/8)
- ・教頭・主任等研修Ⅱ(11/2)
- ・マネジメント②-II(11/19)

##### ③他市アドバイザーに学ぶ研修会(仙北市)

実施日時：令和3年11月11日(木) 9:30～15:00

会場：仙北市立幼保連携型認定こども園 角館こども園  
仙北市役所角館庁舎

内容：保育参観4歳児、保育の振り返り、副園長の振り返り、アドバイザー会議

##### ④市アドバイザーに学ぶ研修(男鹿市)

実施日時：令和3年10月12日(火) 9:45～15:30

会場：男鹿市立船越保育園 船越地区集会所

内容：保育参観3歳児・保育の振り返り・園経営・園内研修参観・園内研修の振り返り、  
アドバイザー会議

##### ⑤県教育・保育アドバイザーによる支援訪問

実施日時：令和3年10月19日(火) 9:30～15:30

会場：男鹿市立脇本保育園 男鹿市脇本公民館

内容：保育参観2歳児・保育の振り返り・県アドバイザーからの指導助言

##### ⑥県指導主事要請訪問への同行

- ・認定こども園男鹿市立船川保育園 こども園訪問(7/6)
- ・男鹿市立五里合保育園(9/14)
- ・男鹿市立玉ノ池保育園(9/22) 公開保育
- ・男鹿市立北浦保育園(10/6)
- ・認定こども園男鹿市立船川保育園(10/7)

＜中止園：市AD対応＞

- ・男鹿市立若美南保育園 公開保育（6/18:中止）
- ・男鹿市立脇本保育園（6/19:中止）
- ・男鹿市立船越保育園（7/21:中止）

＜指導主事要請なし:市AD対応＞

学校法人秋田キリスト教学園 いづみ幼稚園 公開保育（7/1）

- 研修会の日程や内容等について、県と相談しながら進めてきた。今学びたいことや必要と思われる研修を実施することができたことで保育の質の向上につながっている。
- 指導主事要請訪問への同行では、保育や園内研修での気づかせ方や伝え方、課題や改善等への指導方法を学ぶことができた。特に園内研修に対する考え方や伝え方、話し方を学ぶことができ、学んだことを訪問時の参考にしている。
- 私立幼稚園で公開保育を受け入れたことは大きな成果であった。今後も私立という立場を充分理解しながら事業に対する理解と協力を話し合いを通して働きかけていきたい。
- 公立や私立の設置形態を超えて共に学び、育ち合う体制作りを今後も引き続き大事にしていきたい。
- アドバイザー連絡協議会では、県や他市の取り組み状況が分かり、参考になることが多かった。また、協議会をきっかけにアドバイザー同士のネットワークも広がった。
- 「他市アドバイザーに学ぶ研修」では、一堂に会しての参観や協議が難しいことから近隣でも学び合えるような機会も必要と感じた。

**5 わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業(R元～R3)の成果と課題**

- 事業に対する理解が深まり、受け入れ体制が定着したことが保育の質の向上につながっている。
- 保育参観や園内研修、研修会や公開保育が保育者の意欲を育て、専門性を高めたり保育の質の向上につながったりしている。
- 県主催研修会の受講や指導主事要請訪問同行などを通して、学ぶことがたくさんあった。学んだことを園訪問等で活かすことができた。
- 課題であった小学校教育との円滑な接続については、教育委員会と担当課との話し合いを持ったことがきっかけとなり、各小学校に対してうまくアプローチすることができるようになってきている。今後も引き続き関係性を維持していきたい。
- 就学前の育ちを小学校へつなげていくために、合同研修を通して「10の姿」や「育ちの連続性」を学び合えたことは大きな成果である。
- 各保育園や幼稚園、保育間で保育の質や考え方、方向性などに違いや差がある。今後も園訪問や個人面談、公開保育や研修会等を継続し、さらなる保育の質の向上を目指していきたい。
- 自力での教育・保育アドバイザーのスキルアップは難しいため、県主催研修会、他市のアドバイザーに学ぶ研修会、県主催教育・保育アドバイザー連絡協議会等の継続と参加をしていくことが必要である。
- 「男鹿市就学前・小学校等合同研修会」を含め幼保小の連携が定着するには年月がかかることが予想されるため、毎年計画的に実施し実績を積み重ねていくことが必要である。